



◆ 会員紹介 21

特定非営利活動法人 水・環境ネット東北

「水」をテーマに据えたら様々な分野の人や活動をつなぐことができるのではないだろうか？

縦割り社会を横串でネットワークができるのではないだろうか？

社会実験のひとつとして東京のシンクタンクが呼びかけて、1993年、「全国水環境交流会」が設立されました。そこに参加した何人かで、全国的な組織も良いけど、地域での活動も大事との思いで、1993年8月1日「水環境ネット東北」を立ち上げました。翌年(1994年11月)宮城県白石市を会場に『東北水環境交流会——東北地域の組織作りに向けて』の開催にこぎつけました。参加の方々から、東北の「川・水」の組織を作ろう！と励まされて、「水」360度をテーマに「水」全方位の交流会を年に1回会場を移し、東北六県を一巡しました。参加の方々が思いを発露できるように、20名以内の小さな課題別分科会を作りました。例えば、水をテーマの「伝説や昔語り」「温泉」そして「川の歌を唄う」などの分科会もありました。2000年からは「川をはかる」と題して川と川周辺にテーマを絞り「私的河川環境評価方法」を話し合い、探りました。並行して、短い時間で活動紹介をするワークショップ。行政も、企業もNPOも同じ土俵で議論し合う。発表者もギャラリーも「いい川って???」を探るワークショップの企画運営を、東北六県をフィールドに行いました。このワークショップは2011・311後お休みしています。その他、地元の川、広瀬川をテーマに清掃プログラムの開発やフォーラム。地域と行政の協働の川づくりのコーディネートなど。異なる分野の立場の違う人たちの交流の場づくりを様々な形で実施してきました。

「水環境」を視覚化したシンボルマークです。円を「環」環、あるいは地球と位置づけました。地球的に考え、地球的に行動する組織であることを表現しています

これまでの積み重ねの中から、いくつかの市民活動団体の事務局を担当しています。

- ① 雨水ネットワーク東北(あまみず)：2013年「雨水ネットワーク会議全国大会 in みやぎ」の実行委員を中心に、東北での雨水活用の推進と普及啓発、また、更なるネットワークの拡大のため大会の継続活動として設立しました。
- ② 広瀬川を楽しむ会：澁地区の人々が中心に、市民協働で整備された澁の広瀬川を地域の参加で楽しめる場にしていきたい。
- ③ 広瀬川中流域景観まちづくり協議会準備会：河岸段丘の地形を生かした景観豊かな広瀬川、藩政時代の歴史的景観などを広瀬川の清流を守る条例や社の都の景観条例などを学習しながら社会提案をしていきたい。
- ④ 貞山運河研究所：北上川から阿武隈川をつなぐ日本一古くて長い(49km)運河。地域起こしの提案など。津波で全線被害にあっているため調査から始める。
- ⑤ 四ツ谷用水連絡会・土木学会選奨土木遺産認定応募実行委員会：江戸時代城下を縦横に走っていた四ツ谷用水。現在は暗渠にされ本線のみが工業用水として活用されている。仙台が社の都(水の都)になった所以でないだろうか。歴史遺産を後世に伝えていきたい。

また、当NPOの定款の目的の項には、「この法人は、水や環境に関わる幅広い市民(「産・官・学・野」)の交流を通して、水や環境の保全と創造を図り、持続可能な社会の形成に資することを目的とする。」と謳っており、ワークショップやフォーラム、交流会などの様々な交流の場をこれからも工夫していきたいと考えている。

特定非営利活動法人 水・環境ネット東北

〒980-0813 仙台市青葉区米ヶ袋3丁目3-11

TEL: 022-723-1390 FAX: 022-723-1391 E-mail: mizunet@mizunet.org